



探究的な学習研究推進通信

Fukutomi Inquiry Learning Team



令和5年
10月10日
(火)
No.25

研究授業、全グループ終了！

9月4日(月)に小学校3・4年生、9月21日(木)に中学校1・2年生の研究授業を行いました。これで予定していた研究授業は全グループ終了です。これからは、11月14日(火)の教育研究会の準備が忙しくなります。指導案の作成や掲示物の準備など、たくさんの役割があります。よりよい研究会になるよう、連携をとって準備を進めていきましょう。

④9月4日(月)小学校3・4年生「とも(共・友)にいきる(生・活)」

東広島市教育委員会 長野由知 指導主事に来校していただき実施しました。本時の目標は「グループでこれまでの活動を振り返り、めあてを設定することを通して、自分たちの思いや考えを実現させるために、必要なことを考えたり、行ったりすることができる。」でした。児童が進捗状況を把握しやすいように、グループごとにワークシートを作成したり、先生と相談できる時間を予約制にしたり、児童が主体的に活動に取り組めるよう、工夫を行いました。



成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 活動内容や活動のゴールを見直すために、ワークシートやジャムボードを手掛かりに話し合う姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合うためのツールとしてジャムボードを活用することが本当に効果的なのか。 予約制の時間の長ささとフリーで動ける教師の必要性。



⑤9月21日(木)中学校1・2年生「福富に住もう」

東広島市教育委員会 長野由知 指導主事に来校していただき実施しました。本時の目標は「様々な方法で収集した情報を整理・分析し、新たな課題などを見だし、福富町への移住者を増やすために自分達にできることは何なのか考え、今後の活動を計画することができる。」でした。グループごとに活動内容が違うので、指導案の本時の部分をグループごとに作成して、より具体的な生徒の姿を予測しました。



成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 体験、経験が充実しており、それを土台として、考えを進めることができる。 教員のファシリテートが豊富だが、悪い面もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ジャムボードを使うことで頭がいっぱいで、話し合いになっていないのではないか。 生徒同士のかかわりが少ない。 主体性・協働性の差がある。



9月4日(月)の研究授業のときに、長野指導主事に「振り返り」について講話をしていただきました。探究的な学習の中で「振り返り」をどう生かしていくのか、考えていきましょう！

- 学習指導要領と「振り返り」
 - 第3章 第3節 (4) 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動(小・中共通)
 - 学習意欲が高まる(学んで面白い・新しいことを知って楽しい) → 資質・能力の育成に資する
- 「振り返り」とは
 - 「reflection」反射、反省、内省、省察など、自分の姿を鏡に映して観察するように、自身の学びを省察すること。
- 学びのプロセスの中の「振り返り」
 - 総合的な学習の時間の目標 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。 → 学力観のシフト
 - 熟達者を育てるにはおおむね1万時間の訓練が必要。その訓練では、個人のレベルにあった適切なフィードバックが与えられるような「よく考えられた練習」が欠かせない。作品発表や試合などの重要な状況に直面したり、熟達者と同じ共同体と一緒に活動したりすることが効果を生む。
- 「振り返り」をどうするか 内省を促し、改善に作用するために(対話による作用・メタ認知とモニタリング・フィードバック・繰り返し行う)
 - ※熊本大学大学院教育学研究科 前田康裕 特任教授が以下のページで説明して下さっています。
<メタ認知を高め、自己調整力を育む「振り返り」を再考する> sky-school-ict.net/shidoyoryo/221014/
 - ※関連書籍も購入しました。「まんがで知るデジタルの学び ICT教育のベースにあるもの」前田康裕(さくら社)



これからの予定

10月16日(月) 探究的な学習研究推進協議会②
 全体：教育研究会に向けて
 花岡指導主事
 長野指導主事 来校

教育研究会に向けてやっておくこと

- 今年度の探究の流れ(掲示用)【10/25(水)起案】
これを使って、児童・生徒が来校された方々にこれまでの学習の流れを紹介します。
- 児童・生徒の発表原稿 【10/27(金)起案】
- 探究ロードの表示 【10/20(金)完成】
- 会場図・清掃計画 【10/20(金)起案】
- リハーサル・準備計画 【10/20(金)起案】
- グループ指導案(中学校のみ)【11/7(火)起案】

11月14日(火) 教育研究会

先達の言葉

鳥が大気の抵抗に逆らって
 飛び立つように、逆境に挑む力
 こそが、人間を飛翔させるのだ。
 ロア=バストス(パラグアイのジャーナリスト)
 教育研究会当日まで約1ヶ月です。
 授業の計画だけでなく、掲示物の作成
 や児童・生徒による学習の流れの説明、
 会場の準備、リハーサルの計画など、
 大変な日々が待っています。この日々を
 乗り越えて飛翔するためには、教職員同
 士の連携が不可欠です。一人で抱え込
 まずに、協力して解決していきましょう。
 心を一つに頑張ろう！